

県市協調未来創造検討会議「第1回新ホール部会」の概要

- 1 日 時 令和2年11月12日(木) 13:30~15:15
- 2 場 所 徳島グランヴィリオホテル
- 3 出席委員 松重部会長、吉本副部会長
浅香委員、生駒委員、坂口委員、佐藤委員(代理:清水副理事長)
田村委員、花柳委員、檜委員、松永委員、三木委員、吉森委員

<議事での意見>

【新ホール整備全体】

- ・コロナは終息すると思うが、施設はゆとりのある方が役立つ。
- ・小ホールについては、郷土文化会館の今後と並行して議論してほしい。
- ・日影の規制が立地に大きく影響するため、きちんと整理しておいてほしい。
- ・映像を発信できれば興行として大きい。新しい時代の映像を通した舞台を。
- ・津波の浸水区域であるため、防災面での工夫も必要。
- ・県民の使用料を若干安くするとか、工夫の方法はある。
- ・舞台を使う立場だけではなく、裏方スタッフの動線や使い勝手について話を聞きたい。
- ・車椅子の方が雨に濡れずに入館できるように。
- ・ホール施設は、夜や週末だけ賑わうのではなく、平日の昼間にどれだけ人が集まるかが重要。
- ・新ホールで素晴らしいものを観ることも大事だが、県民が活動できる場所を確保することも踏まえ、全体計画を考えた方がいい。慎重に検討をしてほしい。

【施設の規模・機能】

- ・舞台奥にスペースがあれば特色が出るのでは。
- ・地元団体が使うには2000席規模は大きすぎる。
- ・コンサートホールとしては、1800席が理想。
- ・有名アーティストを呼んだり、全国大会や学会を開催するためには、2000席規模に加えて、リハーサル室や小ホールがないと成り立たない。
- ・客席を何層かにすれば、普段は1階のみ1000席を使用し、中ホール的に使うことができる。
- ・2000席の稼働は難しいと思うが、2000席なければできないこともたくさんある。
- ・中途半端な小ホールではなく、音響的にも充実した小ホールがほしい。
- ・日本舞踊や歌舞伎には必ずセリが必要となる。
- ・場所の都合もあるが、舞台の向きは南向きがふさわしい。
- ・徳島らしく、小ホールには人形浄瑠璃の太夫座が設置できるように。
- ・文化施設というのは、2000席のホールだけで機能するものではない。

【にぎわい・まちづくり】

- ・徳島中央公園と一体化できる使い方も考えていただければ。
- ・チケットを持ったお客さんが開場前にゆっくり並べる場所が必要。
- ・ホールから鷺の門まで繋げて、広場が野外劇場になるような視点も。
- ・ひょうたん島クルーズを利用して、川からホールにアクセスする動線はどうか。
- ・鷺の門広場まで、今以上に行き来しやすい通路があればいい。
- ・ホール単体というよりも、徳島の楽しい場所というイメージでまちづくりを。